

千葉県で確認されたカメに寄生するエラビル類の初記録

黒住 耐二¹⁾・戸嶋 啓太²⁾

¹⁾ 千葉県立中央博物館

〒260-8682 千葉市中央区青葉町 955-2

E-mail : kurozumi@chiba-muse.or.jp

²⁾ 〒261-0005 千葉市美浜区稲毛海岸 5-1-7-1006

要 旨 2006 年 6 月に千葉市中央区の都川に生息していたクサガメの甲羅上から淡水性のヒル類であるヌマエラビル類似種が得られた。この種を含むエラビル属は、これまで千葉県から正確な記録はなかったため、初記録となる。

キーワード: ヌマエラビル, シナエラビル, クサガメ, 千葉県。

ヌマエラビル *Ozobranchus jantseanus* Oka (シナエラビルから大野, 1998 で改称) は、淡水産カメ類の体表に寄生する環形動物門ヒル綱吻蛭目エラビル科に属する淡水性のヒル類で、その分布は本州中央部の池や沼とされる (丘・長尾, 1965)。近年の詳細な記録等は、山内・伊藤 (2001) の島根県初記録と共に報告されている。本種やその同属の種は、最近まとめられた千葉県産動物目録に登録されていない (大野, 2003 参照)。

今回、報告者の一人、戸嶋は千葉市内でカメに寄生していたヒル類を採集し、友人を通じて千葉県立中央博物館に同定を依頼した。黒住は、このヒル類を各種図鑑等 (丘・長尾, 1965; 長尾, 1973) で検討した結果、ヌマエラビルかその同属の種であると考えられた。本報告は厳密には属レベルの同定であるが、エラビル属が千葉県での初記録となることから、その意義を重視して、ここに速報することとした。ただインターネット上の観察記録や“カメにヒルが付着していた”という記述等は、正確さを欠くので、記録の対象としない。

ヌマエラビル類似種 *Ozobranchus* sp. cf. *jantseanus* Oka

採集地：千葉市中央区坂月町，都川支流（環境省メッシュコード：5340-31-34）；2006 年 6 月 4 日採集。

採集状況：土手上で休んでいた甲長 10cm 程度のクサガメ *Chinemys reevesii* の甲羅上面中央部よりやや側面に 1 個体、甲羅側面下部（縁骨板）に 1 個体が付着。形態（図 1）：伸長時の体長は約 2cm。やや針状の頸部は半透明で、輪状で濁灰色の観察では 7 個の彩色部があり、前端部は吸盤となっている。濁灰褐色の胴部は、扁平で幅が狭く、頸部側に細まり、13 の体節が認められ、11 個の体節は房状の鰓を持つ大体環と鰓を持たない小体環からなる。大体環の背面には 2 個の

淡黄白色斑が列状に並び、体側から平均的には 5 本に分岐した糸状の鰓を持つ。体の後部には、半透明白色の吸盤がある。

生時は、後吸盤で基質に比較的強く吸着し、頸部と胴部を振り回すように動く。

標本：2 個体得られたうちの大形個体を直接 70% エタノール溶液に浸け保管（千葉県立中央博物館保管・登録 CBM-ZW 998）。

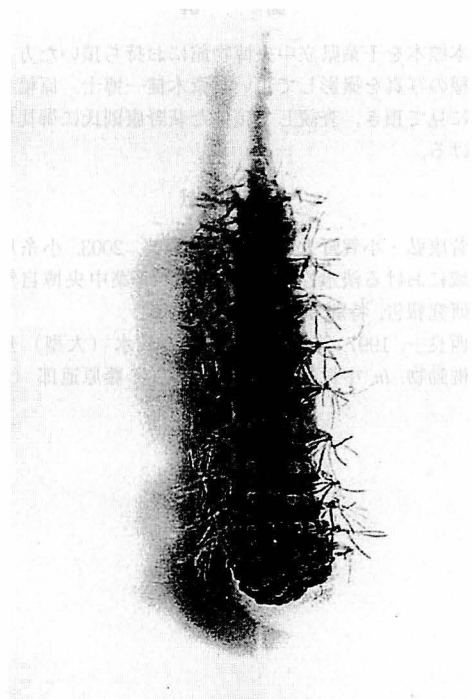


図 1. 千葉市で確認されたヌマエラビル類似種（水槽生体写真）。

本種は、体側に 11 対の房状の鰓を有することとクサガメに寄生していたことから、ヌマエラビルと考えられるが、類似種として報告した。

倉西 (1997) は千葉市内の詳細な淡水性大形無脊椎動物の調査結果を報告しているが、その中には本種に相当する種は確認されていない。千葉県からも、この仲間の正確な記録はなかったものの (大野, 2003 参照), 本種は県内には広く分布している可能性も充分に考えられる。本種は、旧和名に示されているように、中国から記載された種であり、分布記録も散在的であることから (山内・伊藤, 2001 参照), 史前帰化を含めて、移入種ということも考えられる。今後、詳細な県内での本種の分布調査や寄生率・生活史等の観察が望まれる。

特に今回の標本は土着のクサガメに寄生しており、山内・伊藤 (2001) に示されたこれまでの報告でも、ヌマエラビルは土着のクサガメカイシガメ *Mauremys japonica* からのみ知られており、移入種のミシシッピーアカミミガメ *Trachemys scripta elegans* への寄生は未報告である。本種が、土着カメ類に対する寄主特異性を持っている可能性も想定されよう。千葉県内には、土着のクサガメ・イシガメと移入のミシシッピーアカミミガメもほぼ同所的に生息している場所も知られており (例えば小菅ほか, 2003), このような地点では、上記の寄主特異性を野外で検討できるかも知れない。

謝 辞

本標本を千葉県立中央博物館にお持ち頂いた方々、本種の写真を撮影して頂いた斎木健一博士、原稿を詳細に見て頂き、査読して頂いた萩野康則氏に御礼申し上げます。

引用文献

- 小菅康弘・小賀野大一・長谷川雅美. 2003. 小糸川流域における淡水性カメ類の分布. 千葉中央博自然誌研究報告, 特別号 (6): 55-58.
倉西良一. 1997. 湾岸都市千葉市の淡水 (大型) 無脊椎動物. In 中村俊彦・長谷川雅美・藤原道郎 (編),

湾岸都市の生態系と自然保護, pp. 879-892. 信山社サイテック, 東京.

- 長尾 勝. 1973. ヒル類. In 上野益三 (編), 川村多實二原著. 日本淡水生物学, pp. 356-361. 北隆館, 東京.
丘 浅次郎・長尾 善. 1965. しなえらびる. In 岡田 要 (編), 新日本動物図鑑 [上], p. 569. 北隆館, 東京.
大野正男. 1998. 日本産野生生物目録 (45). 環形動物門. ヒル綱. In 環境庁自然保護局野生生物課 (編), 日本野生生物目録—本邦野生動植物の種の現状— (無脊椎動物編 III), pp. 47-49. (財) 自然環境研究センター, 東京.
大野正男. 2003. ヒル綱. In 千葉県史料研究財団 (編), 千葉県の自然誌資料. 千葉県産動物総目録, p. 83. 千葉県.
山内健生・伊藤哲也. 2001. 島根県で発見されたヌマエラビル *Ozobranchus jantseanus* (環形動物門: ヒル綱: エラビル科). ホシザキグリーン財団研究報告 (5): 309-310.

(2007 年 2 月 2 日受理)

A Record of Freshwater Ozobranchid leech, *Ozobranchus* sp. cf. *jantseanus* from Chiba, Central Japan

Taiji Kurozumi¹⁾ and Keita Toshima²⁾

¹⁾ Natural History Museum and Institute, Chiba
955-2 Aoba-cho, Chuo-ku, Chiba 260-8682, Japan
E-mail: kurozumi@chiba-muse.or.jp

²⁾ 5-1-7-1006 Inagekaigan, Mihama-ku, Chiba
261-0005, Japan

A freshwater Ozobranchid leech, *Ozobranchus* sp. cf. *jantseanus* is first recorded from Chiba Prefecture. The specimens were found as an external parasite on the carapace of a native turtle, *Chinemys reevesii* from Miyako-gawa River, Chiba-shi, Chiba Prefecture, central Japan.